

■ 編集委員

池淵 研二* (委員長)

赤塚 俊隆* 伊崎 誠一* 小山 勇* 仁科 正実 町田 早苗 松下 祥* 御手洗哲也*

渡辺 修一* Chad L Godfrey (*Associate Editor 兼任, 五十音順)

■ Associate Editor

池田 正明 太田 敏男 永井 正規 萩原 弘一 (五十音順)

■ 編集後記

編集部体制の変更について紹介させていただきます。本雑誌に原著論文として掲載された論文が学位審査対象となる機会があり、他の国内学会雑誌レベルを担保するため、査読体制の整備に取り組むことにしました。編集委員プラス数名の先生を新たに加えてAssociate Editorチームを編成し、適切な査読者を選んでいただき、最後の掲載可となる直前の段階までやり取りをしていただくことにしました。また原著論文投稿時には本人はもとより、共著者の方にも自己申告書の提出をいただき、論文作成の中での役割を明確にさせていただくことにしました。

次にご紹介したいのは、本雑誌にこれまでにない別の機能を持たせる工夫を考えている点です。学内で行われている種々の活動の紹介、知っておいて損のない医学界での新情報紹介や総説、これらをリアルタイムで紹介できる役割を持たせるようにしていきたいと考えていることです。そのため現状の予算内で年2回の刊行から年4回の刊行に増やせないか検討しています。

さて学内グラント受賞者による終了時報告書と終了後報告書が今回の号にも多数掲載されています。ちょうど7月23日に受賞者有志による第1回成果発表会を開催することができました。嬉しいことに大学院生の出席があり、活発な質疑応答ができました。学内で誰がどんな研究を行っているかがリアルに伝わる会になったと感じました。今後は医学部生や医療学部生にも案内を出して、学内で展開中の基礎研究と臨床研究の成果を若い時期から身近なものとして感じていただけるように成果発表会を継続していきたいと考えています。若者の中に研究指向の気持ちが育ちますように！

編集後記には書いた時期が分かるようなちょっとした記事を残しておきたいと思いますが、今回は猛暑の中、秩父で防災ヘリが墜落した時期と偶然合ってしまいました。私が勤務する国際医療センターでは開院当初このドクターヘリに輸血製剤を載せるかどうかを真剣に議論していたことを思い出しています。

(池淵研二)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第37巻 第1号

編集責任者

池淵 研二

平成22年8月25日 印刷

平成22年8月31日 発行

発行所

埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話 049(276)2102(直通) FAX 049(276)1964 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制作

株式会社アテネデザイン

東京都港区三田1-11-19 小宮ビル2階 電話 03(3456)5741(代) <http://www.atene.co.jp>